

牛久：学校周辺に見る自然

第55号

牛久二小

2021年2月2日発行

＜ 冬の生きもの観察 ～②野鳥＞

牛久二小4年生との、冬の生きもの観察。今回は、鳥のなかまです。観察前に話しましたが、鳥は冬でも活動しています。北の国から渡ってくる「冬鳥」もいます。おおぜいで観察しているとなかなか出てきてくれませんが、それでも何種類か観察することができましたね。



冬鳥、ジョウビタキのめす。ジョウビタキは、おすもめすも、なわばりをもつ。

まずは冬鳥で、ジョウビタキ。北側の門のあたりにいました。おすもめすも、なわばりをもつので、飛んで行ってしまっても、しばらく待つるとまたもどってくることもあります。他に冬鳥は、観察前にグラウンドでツグミがエサを探していました。南側のやぶの中では日本の中で暖かい地方に移動するアオジの声がしていました。



メジロやヒヨドリ、ハクセキレイなど、一年中日本にいる鳥も活動しています。むしろ落葉樹の葉が落ちている分、かえって見つけやすいかもしれませんね。他にはスズメ、キジバトなどもいました。【理科支援員：宮内】

ビワの蜜を吸うメジロ(左上)。木の枝にかくれるヒヨドリ(右上)。エサを探すハクセキレイ(下)。